

第 28 回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

- 日 時：**令和6年1月24日（水）9:30～11:00
■場 所：刈谷市役所 7階大会議室
■議 題：
 1. 公共施設連絡バス「かりまる」の再編について
 2. デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について



■出席者：

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第1号委員	中部大学 工学部 都市建設工学科 教授	磯部 友彦	○
第1号委員	大同大学 工学部 建築学科 土木・環境専攻 准教授	樋口 恵一	○
第2号委員	トヨタ紡織(株) 総務部 総務室長	亀井 隆	○
第2号委員	トヨタ車体(株) 総務部 総務室長	宮地 哲也	○
第3号委員	名古屋鉄道(株) 地域連携部 交通サービス担当課長	花村 元気	代理 (夫馬康昌)
第4号委員	(社) 愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	○
第4号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	○
第4号委員	(公) 愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	○
第4号委員 兼第5号委員	名鉄バス(株) 運輸本部 首席 交通企画官	大野 淳	○
第6号委員	自治連合会 副会長	亀田 鹿雄	○
第6号委員	女性の会連絡協議会 書記	森口 靖子	○
第6号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	○
第6号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	岡田 晃一郎	○
第6号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	○
第7号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	代理 (岡本清志)
第8号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	永井 隆拓	代理 (茶谷勇樹)
第9号委員	刈谷警察署 交通課長	武田 謙次	○
第10号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	河合 敦	欠席
第10号委員	刈谷市建設部長	齊藤 昭久	欠席
第11号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	山田 浩之	代理 (江崎嘉彦)
第11号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	伊藤 慎悟	代理 (真田和佳)
第12号委員	刈谷市都市政策部長	竹内 健人	欠席
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	後藤 直紀	代理 (中村智和)
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	村口 文希	欠席
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	伊藤 雅人	欠席

(事務局)：都市政策部都市交通課 豊永課長、近藤課長補佐、内藤次世代モビリティ推進係長、伊藤公共交通係長、五明主査、岡田主事

(事務局補助)：中央コンサルタンツ株式会社 神谷、飯田

■意見概要（発言順）：

議題（１）公共施設連絡バス「かりまる」再編について

	主な意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・チョイソコかりやを中部地域や南部地域に展開することは考えていないのか。かりまるの運行本数が少ないことの改善策にもなると思うが、どのように考えているか。【作田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地域と南部地域では、乗車人数が多く、大量輸送する機能としては定時定路線のバスが適していると考え、たたき台として提案している。北部地域ではチョイソコかりやが始まっている。今後の各地域での意見交換会で、各地域で適した手段を住民の皆様と一緒に考えていきたい。【事務局】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・“公共施設連絡バス”をコミュニティバスに変更していく方針であり、賛成である。再編案も賛成である。【横山委員】 ・無料ではなく受益者負担は考えていくべきだと思う。【横山委員】 ・福祉面では何らかの優遇策を設けてほしいと思う【横山委員】 ・周辺都市でタクシー会社が倒産している事例も多く出ている。免許返納の方たちへタクシーの補助金を出すなどして、タクシーが公共交通として生き残れる支援をしていただきたい。刈谷市の将来の公共交通体系に向けて、一緒になって考えていきたいと思う。【横山委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーも重要な交通手段であり、引き続き意見交換して検討していきたい。【事務局】 ・有料化を視野に入れた検討を提示しているが、意見交換会を踏まえて検討していきたい。【事務局】 ・鉄道、バス、タクシー、デマンド交通を適切に組み合わせながらそれぞれのニーズに応じていく仕組みを作っていきたいと考えている。【事務局】
3	<ul style="list-style-type: none"> ・路線を増やしてサービスの向上を図るといだが、2024年問題によりドライバー不足が大きな問題の中で、安定した運行ができるのか。ドライバーの待遇も配慮いただければと思う。【出口委員】 ・2024年問題等の影響を受け、運転手確保に取り組んでいる。かりまるや刈谷市に関わる名鉄バスの自主路線の本数は調整しておらず、現状では影響ないため安心して頂きたい。【大野委員】 ・受益者負担について、税の公平性から考えると無料ではない方が良いと思う。適正な運行本数について、行政や市民、運行事業者で協議を重ね、事業者としてはサービス向上に努めていきたい。【大野委員】 ・バス協会としては、バス、タクシーも運賃改善を行い、ドライバーの待遇改善をしていかなければいけないことを国に提言している。運賃改善を行っていく今の情勢において、かりまるが無料であることを心配している。【小林委員】 ・「かりまる」の位置付けが、これまでの「公 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活を支える「かりまる」となっていく中、受益者負担の検討が必要であるとの認識を持っている。2月以降、中学校区単位で住民の皆様と意見交換会を開催する中で、受益者負担に関することも市民の皆様から意見をいただき、結果をとりまとめ、本協議会で共有させていただく。【事務局】 ・乗務員確保については刈谷市地域公共交通計画の施策の中で位置づけがあり、具体化に向けて検討を進めていきたい。【事務局】

	<p>共施設連絡を連絡するバス」から「地域の公共交通として持続可能な都市を支える公的位置づけ」になる点が重要と考える。また、地域公共交通計画においても南北の都市の骨格軸として「かりまる」が位置付けられている。都市をつくる交通機能として料金について議論しなければならず、運行本数や運転手不足と合わせて考えなければならない。次回以降の都市交通協議会において、「公共交通としてのかりまる」の料金に関する議論を進めていくことを提案する。【樋口副会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョイソコかりやの中部地域や南部地域への展開については、定時定路線かデマンド交通かなど各地域で共に議論を進めることが良いと思う。また、地域公共交通計画の計画期間である令和15年までの10年間のビジョンが提示されると、議論がより深まると思う。【樋口副会長】 	
--	--	--

報告案件（1）デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について

	主な意見	回答
4	<ul style="list-style-type: none"> ・予約が電話予約かアプリ予約かについてデータを示して欲しい。【横山委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ量がそろってきた段階で数値化していく。現時点では電話予約が多いがスマートフォンからの予約も入っていることを確認している。【事務局】

報告案件（2）その他について

（意見等はなし）